

メガフォートリスは、環境保護への取り組みとして「BioSphere (バイオスフィア)」と提携し、自社製品の生物分解性を強化いたします。



およそ1世紀近くに渡り、プラスチックは、衣類、料理、包装、小売業、エンジニアリングなど、我々の日常生活において様々に使われています。このように、プラスチックが広く使用される理由のひとつは、その耐久性にあります。

しかしながら、2015年に廃棄された63億トンのプラスチックのうち、リサイクルされたのはわずか9%、12%は焼却され、残り大半の79%は、埋め立て地や自然環境の中へ投棄されています。(BBC-Science Magazine)

プラスチック製品が生物によって分解されるには、数百年にも及ぶ長い時間を必要とします。

そこでメガフォートリスでは、生物分解性において高い技術力を持つ「BioSphere (バイオスフィア)」と提携いたしました。

「BioSphere (バイオスフィア)」の生分解性プラスチック添加剤は、ASTM規格（世界最大規模の標準化団体である ASTM International (旧称 American Society for Testing and Materials : 米国試験材料協会) が策定・発行する規格) D 5511とD 5526によって、その安全性および性能が検証されています。

未添加の製品が生物分解におよそ数百年を要するのに対し、添加した製品では、1年から5年の短期間での高い生物分解性を示しました。この添加剤は、メガフォートリスのセキュリティシールの持つ特性だけでなく、人体においても全く影響ありません。

- ・製品に与える影響は無く、従来のものと同様にお使いいただけます。
- ・食品安全性は、FDA (アメリカ食品医薬品局) ルールに沿っています。
- ・従来の製品と同程度にリサイクルが可能です。
- ・埋め立て地やコンポストなど高い微生物活動環境下にあるときのみ、生物分解されます。